

●わが家の住宅用火災警報器、いますぐチェック！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。設置時期を調べるには、住宅用火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

10年たっていなくても、故障などの場合は交換が必要です。作動確認をしてください。

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。



10年経ったら交換しましょう



住宅用火災警報器は、
10年を目安に交換を
検討しましょう！

●つけましたか？住宅用火災警報器

海南市では、平成16年の消防法改正で既存住宅を含めた全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。住宅火災により亡くなった人の約5割が「火災発見の遅れ」です。住宅用火災警報器は煙や熱を感知して警報音で早期に火災発生を知らせてくれる大切な機器です。設置されていないご家庭は早急に設置をお願いします！